

# 第14回福祉教育研究フォーラム

## “つながる”福祉教育を考える

定員300名

※応募者多数の場合、先着順とさせていただきます。

2021年

オンライン(Zoom)開催

2月13日 土 13:00-16:30

開催の狙い

申込締切:2021年2月1日(月)

参加費無料

福祉教育研究フォーラムは、青年期の社会福祉の学びを共通テーマに高校と大学が、①今日の福祉をめぐる教育諸課題の解明 ②高大連携教育・教育実践の交流 ③福祉教育の在り方などを通じ、高大連携による教育発展、研究充実に向けた交流・研修事業を行っています。

第14回となる今回は初めてオンライン会議システム「Zoom」を利用して開催します。遠方にお住まいの方にもぜひご参加いただき、「新しい形でのつながる福祉教育」を考えるフォーラムにしたいと思います。

### プログラム

開会 13:00~13:10

第1部シンポジウム 13:10~14:30「青年期の福祉教育の学びを考える」

報告者:①相談職 ②介護職 ③高校福祉科教員 ④一般企業

コメンテーター:矢幅 清司 氏(文部科学省初等中等教育局視学官)

コーディネーター:小林 洋司 氏(日本福祉大学社会福祉学部准教授)

青年期(高校・大学の7年間)に福祉教育を受けた4名の若手から、7年間の学びを振り返るとともに、福祉マインドをどのように発揮して活躍しているのかご報告いただきます。

第2部ブレイクアウトセッション 14:35~15:15

「コロナ禍における福祉教育実践～実習・演習を中心に～」

コメンテーター:矢幅 清司 氏(文部科学省初等中等教育局視学官)

コーディネーター:本フォーラム実行委員

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、制限された教育・課外活動に対する工夫や悩み等をグループごとに話し合い、結論を参加者全員で共有します。

第3部基調報告 15:25~16:25

「ソーシャルワーク資格のカリキュラム改訂が求めること」

登壇者:厚労省ご担当者、原田 正樹 氏(日本福祉大学副学長)

社会福祉士および精神保健福祉士のカリキュラム改訂の背景や今後求められる人材育成像を改めて学ぶことで、教育実践活動に活かしたいと思います。

閉会 16:25~16:30

挨拶:本フォーラム実行委員会

主催:第14回福祉教育研究フォーラム実行委員会/日本福祉大学

共催:愛知県高等学校福祉教育研究会/三重県高等学校福祉教育研究会

後援:全国福祉高等学校長会/愛知県教育委員会/三重県教育委員会/岐阜県教育委員会/静岡県教育委員会

長野県教育委員会/名古屋市教育委員会/一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟

## 第 14 回福祉教育研究フォーラム

# “つながる”福祉教育を考える

### 申込方法

下の①②のいずれかの方法でお申込みください。  
事務局より受付完了のメールを送付いたしますので、ご確認ください。

**締め切り 2021 年 2 月 1 日 (月)**

#### ① ホームページから申込

専用申込ページよりお申込みください。

日本福祉大学 福祉教育研究フォーラム

検索



▲申込フォーム  
QR コード

#### ② メールで申込

事務局 (forum20@ml.n-fukushi.ac.jp) に下の必要事項をご入力の上、  
お送りください。

必要事項▶

- ① 氏名
- ② ご在住県
- ③ ご職業 (以下よりお選びください)

高校教員 (福祉科・総合学科・その他)、社会福祉協議会、  
社会福祉法人職員、一般、大学生、大学院生、高校生、その他

- ④ 勤務先
- ⑤ 役職・学年 (学生以外が役職名を、学生は学年をご入力ください)
- ⑥ メールアドレス (連絡先および Zoom URL 送付先)
- ⑦ 電話番号 (日中に連絡のつく番号をご入力ください)

### 参加方法

お申込みいただいたアドレスに開催 3 日前までを目途に資料データと当日の Zoom URL  
をお知らせします。

### 問い合わせ先

日本福祉大学福祉教育研究フォーラム係

TEL : 052-242-3045

E-mail : forum20@ml.n-fukushi.ac.jp

(お寄せいただいた個人情報は、本事業にのみ使用いたします)